

どこがちがう？ 慣用句の直し②

なまえ _____

場めん に 合わない 慣用句を 直そう～こまった 場めん～

ひづけ _____

- ・問1～3は 下線が 引いて ある。問4からは、こまった ようすに 合わない 慣用句の ところに 自分で 下線を 引こう。
- ・場めん に 合う 慣用句に 直して、文ぜんぶを 横線に 書こう。ことばの おわりは かえて よい。
- ・問1～6は 下の 箱から えらぼう。箱の ない 問は、場めん に 合えば どの 慣用句でも よい。
- ・直さなくて よい 文は、下線を 引かずに、横線の 上に 『なおさない』と 書こう。

- (1) 場めん 弟が 何度 注意しても いたずらを やめない。

母は 手を抜いた。

→ _____

- (2) 場めん 朝から 夕方まで 歩き つづけて、もう 一歩も 歩けない ほどだった。

わたしは 足を運んだ。

→ _____

- (3) 場めん けんかを して いる 二人に、わたしが 余計な ことを 言って、もっと もめた。

わたしは 水に流した。

→ _____

- (4) 場めん 高い とびこみ台の 上に 立ったが、こわくて なかなか 決心が つかなかった。

ぼくは 胸を張って いた。

→ _____

- (5) 場めん お店は お客さんで いっぱいで、いそがしくて たまらない。

店の 人は 猫の手も借りたい ほどだった。

→ _____

- (6) 場めん ふいに 後ろから 水を かけられて、びっくりして あわてた。

ぼくは 鼻が高かった。

→ _____

- (7) 場めん テストの 前の日 に なって、まだ 少しも 勉強して いない ことに 気づき、どうして よいか わからなく なった。

ぼくは 肩の荷が下りた。

→ _____

- (8) 場めん みんなが 楽しく 話して いたのに、友だちが 急に 暗い 話を はじめて、その 場が しらけて しまった。

友だちは みんなの 話に 水を差した。

→ _____

- (9) 場めん 広い 校庭の 草むしりを ひとりで ぜんぶ したら、とても たいへんだった。

この 草むしりは 朝飯前だった。

→ _____

- (10) 場めん ひどい うそを つかれて、あきれて 何も 言えなくなった。

わたしは 舌が回った。

→ _____

ことばの 箱(問1～6で つかえます。つかわない ことばも あります)

火に油を注ぐ

目を白黒させる

足が棒になる

とら 虎の子

手を焼く

白羽の矢が立つ

ふ 二の足を踏む

